

サンドアート「砂の絵本」～おととひかりのダンス～

サンドアートとは…



下からライトを当てた透明なキャンバスの上にまかれた砂に、指だけを使って様々な生き物や風景などを描き、ストーリーと共に次々と変化していきます。ひとつの絵ができていっていき様子や、次の絵に変わっていく様子が、ステージ上の大きなスクリーンに映し出されると、まるで“魔法”でも見ているかのような、とても不思議なパフォーマンスです。

小さいお子さんからおじいちゃん・おばあちゃんまで、見ている誰もが思わず惹き込まれてしまい、一瞬たりともスクリーンから目が離せなくなってしまいます。今回のパフォーマンスは「砂の絵本」と題し、音楽に合わせて、いくつもの絵を描いていきます。

たむら ゆうこ

砂絵 / 田村祐子

愛媛県松山市出身在住 阿佐ヶ谷美術専門学校 イメージクリエイション科卒業

絵を描くのが好きで、家族から『無人島で紙とペンがあれば生きていける』と言われる子ども時代を過ごす。

2013年、独学で砂絵を習得。2014年、砂絵と音楽の作品「声のスケッチ」DVD発売以降、全国各地、国境を越えてご縁のある場所、人の前で、砂で絵を描き表現している。

<主な活動>

2019年、オーストリア/トイハウス主催『BIMBAM フェスティバル』に招致され、現地アーティストと共同制作した子どものための舞台作品「VOM FEINSTEN」(和訳/とても繊細な)を公演。ザルツブルク『おもちゃ博物館』にて現地の子供達への砂絵ワークショップも開催し好評を博す。

NHK鳥取 ニュース番組『いろ★ドリ』インターミッション制作、デーモン閣下アルバム『うただま』リード曲/少年時代 MV 砂絵制作耳の聞こえない、聞こえづらい人達への砂絵ソロ公演とワークショップ開催



くまさか るつこ

音楽 / アコーディオニスト 熊坂路得子

埼玉県さいたま市 生まれ。

6歳よりピアノをはじめ、師の演奏に魅せられ、18歳でアコーディオンと出会った。女子美術大学短期大学部在学中、学校行事や個展等で演奏を始める。現在ではソロ演奏から、ジャンルを超えて様々なミュージシャン、画家、俳優、詩人等とのセッションを展開。映画やCM、芝居、舞台の音楽に携わり、精力的に演奏活動を続けている。

尚、2017年には、初めての個展を開催。2009年、2014年の二度に渡り、自身の参加するユニットでのアルバムを全国リリース。2009年渡仏。2014年11月カンボジア王国<ダンルン瞳サンキ中学校開校式>に出席、演奏。

夏休み特別企画 (対象：小学4年生～中学2年生)

みはま演劇体験チャレンジ 2021 参加者大募集!!

興味はあるけど、なかなか習うことができない「演技」にチャレンジ!
ジャニーズやAKB48の舞台で共演する劇団が教えてくれます!

日程：2021年7/29(木)、8/6(金)、10(火)、17(火)～21(土)

時間：7/29、8/6、10(13:00～17:00) 8/17～21(10:00～16:00)

21日(土)はご家族をご招待しての発表会を予定しています

会場：千葉市美浜文化ホール4階リハーサル室、真砂コミュニティセンター他

参加費：4,400円(税込/全8回分)

参加対象：小学4年生～中学2年生

定員：最大30名 ※先着順 応募〆切：7/25(日)18:00

監修：横内謙介(脚本家/演出家)

体験詳細・お申込みはこちら

講師：劇団扉座(田中信也・串間保彦ほか)

chiba-aw.jp/mihama

7月

18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
6	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

QRコード



スーパー歌舞伎II『ワンピース』、ジャニーズ、AKB48等アイドルの舞台、サンリオピューロランドの人気ショー『kawaii kabuki』などを手掛ける劇作家・演出家：横内謙介の主宰する劇団。

1982年、厚木高校演劇部出身の横内、岡森諒、六角精児が中心となって「善人会議」という名称で旗揚げ。'93年「扉座」に改名。

どの世代の人が見ても見やすく、笑って泣いて感動できる舞台作りで、紀伊國屋ホール、座・高円寺など中劇場での公演、及び地方へのツアー公演を精力的に行っている。テレビや映画、舞台上で活躍中の、六角精児、山中崇史(『相棒』シリーズ)、高木トモユキ(ミュージカル『刀剣乱舞』)などが所属。俳優・高橋一生も出身者。